

生産性向上実現プログラム研修会を開催

[岐阜署]3月6日、岐阜県揖斐川町で、岐阜県揖斐農林事務所と岐阜森林管理署共催で生産性向上実現プログラム研修会を開催しました。

生産性向上実現プログラムは、素材生産能力の高い事業体を育成することを目的に、作業日報の分析等により作業システムの改善を図る取組です。

講師は、岐阜署の熊崎森林技術指導官と、本プログラムに取り組んだジープフォレスト(株)(岐阜市)の山中専務が務め、中部局の取組成果発表会で二年連続優秀賞を受賞した取組事例を学びました。

講師が一方向的に話すばかりでなく、参加型の研修会とし、参加した素材生産事業者等からは、「日報のどこに着目すればボトルネック(生産性の低い工程)を把握できるのか」、「生産性を日々管理し、情報の共有、全員が作業内容を理解することが大切」、「レンタル機械は当たり外れがある。試し運転で不具合がないか確認するか、年間で借りる機械を固定するとトラブルを回避できる」、「チェック、アクションで把握した改善点を次の計画に活かすことが大切」などの発言があり、参加各社の取組事例などを交えた活発な意見交換になりました。



研修会の様子

生産性向上実現プログラムは平成27年度から中部局が全国に先駆けて取り組んできたものであり、今後も取組成果について積極的に民有林へ普及していきたいと考えています。



発表に使用されたスライド